



今年も残すところ1か月となりました、平成30年度はどんな年でしたでしょうか。かえで保育園では4人の職員が育児休暇に入り、うれしい悲鳴を上げながら、丁寧に保育の引継ぎし、保育体制を考え進めてきました。初めてのことでしたので法人としての職員の子育て支援も運営の事業計画の中に組み入れながら、保育の質を下げずに進めていくことを念頭に職員体制を整えてきました。おかげさまで出産する職員の妊婦生活は順調で、赤ちゃんもおなかの中から毎日元気に遊んでいる子供たちの声を聴き、時にはおなかを蹴ったり、おなかの心音を聴診器で聞いたりしながらですが、トラブルなく無事に元気に生まれてきてくれました。保護者の方々からは温かい言葉をいただきありがとうございました。そして保育園の生活では子供たちの考える力や探求することが浸透し、メダカと育つ・かめエピソード・虹を探す・猫からの手紙のファンタジーなどで子供とともに毎日ワクワクしながら過ごせています。子どもの「考える」という行為は読み書きや計算から行うのではなく、毎日遊びの中から発見して試してみたり、失敗したりしながら基礎を習得していきます。

「教育」とは教え込むのではなく、子供自らの経験の中から「やってみたい」「やってみて気づく」「やれた」「もっと知りたい」「そのことを友達と分かち合いたい」などが就学前の幼児の時期には必要です。かえで保育園の子どもたちは狭い園庭ではありますが、自分たちが植えた「カブ」「大根」の世話をし、その横になっている小さな夕顔の花や松ぼっくり、ドングリで様々な想像力をもち、遊びに結びつけています。少しの時間ですがともに園庭遊びに入ると、発見したときの歓声や自分ができるようになったことを「みてて」と誘ってくれる姿に将来どんな考えをもってくれるのだろう・・・とワクワクして遊びを見守っています。

先日、松秀幼稚園とニコニコ桜保育園の交流会を楽しみました。松秀幼稚園の壮大な敷地の中、自然に溶け込み遊ぶ時間をいただきました。お弁当も園で詰め、ホカホカのお弁当を事務長先生に届けていただき、職員の連携で楽しい時間を過ごせました。食事のあと第2園庭で3園対抗リレーを行いました。よいどん！の掛け声で始まったリレー・・・走る走る・・・手も足も体全体がとてもバランスよく、グングン離れていき見事1位！！そのバランスの良さはやはり裸足での生活の賜物だと確信しました。

字が書けなかったり、興味が持てなかったりで評価するよりこの体幹のバランスがよい・持久力がある・どこまでも歩き続けられる体力があるなどが子どもたちの成長の糧になると思います。休日、公園で一度よいどんでかけっこをしてみてください。お子様の成長を感じられると思います。



★かえでカフェのお知らせ

第2回「もちろん！かえでリサイクル」は、12月1日（土）10：00～11：30
16：00～17：00に行います。リサイクルするものを並べたり、準備する段階で皆さんが段取りしやすいようにサイズをまとめて1袋に入れて持ってきてください。
皆さんで店番をしながらリサイクルが楽しく進められることを願っています

～フラダンス～

同日12月1日13：30～15：00フラダンスを楽しみます。POPに掲示していますので名前を記入しご参加ください。素敵な先生をお招きしています・・・

★ダンディ・タイム

1月12日 職員研修で『小西貴士氏』をお招きします。 時間 14：00～16：00
自然の循環の話を体験を交えて素敵なトークを聞きながら今後の活動とかえでの楽しい日の出し物を検討します。お父さん・おじい様一緒に話を聞かれませんか？詳しくはPOPでお知らせします

にこにこメッセージ

秋の深まりを感じる時は短く、気がつけば12月暖かな冬がやってきたように感じます。

11月はクラスや異年齢で散歩に出かけることも多く、公園までの道中では、きれいな落ち葉を見つけると立ち止まり「こんな葉っぱみつけた」と子どもたちが見せてくれました。どんぐりを見つけたときはポケットに入れる子がほとんどですが、赤や黄色に色づいた葉っぱはたくさん集めたいので「袋ちょうだい」と保育者からビニール袋をもらい大切に持ち帰ります。園に戻ったら、制作をしたり、飾ってみたり、違うクラスに「おみやげー」と届けたりします。もらったクラスの子どもたちは嬉しそうに手に取り、「また今度一緒に行こうね」と言葉を交わすこともあり、また一緒に出かけたいと思います。

先日、だいちぐみのお泊まり保育がありました。今年はどんなことをしようか、担任から子どもたちが今、興味を持っていること、お泊まり保育でやってみたいことなどを聞き、職員一人ひとりが役割を担い取り組みます。子どもたちはお客様ではないので、食事作りは、買い物からクッキングをすることも取り組みます。晩ご飯には子どもたちが招待状を作り、私たちを招いてくれます。もちろん子どもたちからの出し物もあり、今回は笑いあり、感動の涙あり、個性豊かなものがたくさんありました。

寝るときには、担任が素話をする間もなく、あっという間に、朝までぐっすりと寝てしまった今年のだいちさん、今回のお泊まり保育もたくさん笑って楽しかった行事でした。

他のクラスの皆様には2日間、ご協力を頂きありがとうございました。

主任保育士 藤森 寿美

【 せんせいからのおはなしコーナー 】

今回は私の娘の珍エピソードについてお話します。

小さい時からはさみで切ったり糊で貼ったり、工作が大好きな小学1年生の娘なのですがつい先日、小学生向けの雑誌に付いている付録の作り方が難しかったようで私に持ってきて来ました。「ああ、ここの部分は糊で貼らなあかんで」と伝えるとまた黙々と作り始めました。が、しばらくすると「なんで！！なんでこんな上から目線で言われなあかんの！！」と付録に向かってぶつぶつと怒っているのです。上から目線ってどこで覚えてきたんやろと思いつつながら最初はてっきり自分の説明の仕方が悪かったのかなと思って何で怒ってるのか尋ねると「お父さんこれ見て！！」と指差したほうを見ると“のりしろ”と書かれている部分でした。何のことかさっぱりわからず「どうしたの？」と聞くと「“のりして”って書いたらいいのに何で“のりしろ”って書くんよ！！」と話すのです。どうやら“のりしろ”を“糊しろ！！”と勘違いしていたようです（笑）妻と2人で大笑いしたあと、本人に説明すると「そういうことだったのね」と笑っていました。普段の毎日の生活の中で、知らずにいつの間にか少しずついろいろなことを覚えて成長してるんだなと感じる瞬間でもありました。

かえて保育園の子どもたちにも卒園するまでの間にいろいろな体験を通じて心も体も豊かに育ててほしいと願っています。そして保護者の方々とも1人の親としてお話したいと思いますので、子育てエピソードについて是非いろいろ教えてください。

栄養士 河田 泰隆

～めばえぐみ～

ねらい：「お友達と関わり遊ぶことを楽しむ」

う た：「あかはなのトナカイ、てをたたきましょう、おちよず、まにまにけむし」

毎朝天気の良い日は園庭に出る前にお集りをしています。

手遊びをした後に、絵本を読み、その後一人ひとり名前を呼ぶと「はい」言うように手を挙げて返事を少しずつ出来るようになっていきます。

お友達にも興味を持ち始め、「だあれ」というように指差しをします。保育者が「〇〇ちゃんだよ」と言うと他のお友達や保育者も指差しして名前を聞きます。順番に「〇〇先生は」など名前を言い、聞くと指差しやその人の近くに行き行って教えてくれます。



“ぎこぎこ”

木の筒を見つけて木の棒でぎこぎこと音を鳴らしていると、お友達も来て「あ、あ」と言ってその場に座り込みました。木の棒を指さし、「それちょーだい」というようにお友達が言いました。すると「はいどうぞ」と言うように木の棒を渡します。お友達も手を伸ばし「ありがとう」と言うように受けとっていました。保育者が歌を歌うとそれに合わせて嬉しそうにぎこぎこと音を鳴らして楽しんでいます。



“おままごと”

園庭にある木の机と椅子に座りみんなでスコップやお皿を机の上に置き、おままごとをしています。

一人が椅子に座り机の上で砂の入ったお皿を混ぜ混ぜして遊んでいると、「何しているの」と言うように机に手を置き顔を覗かせています。

机の空いているところにお皿やスコップなどを置き、

「〇〇ちゃんも座ってる」と保育者が聞くと、「ん、ん」と言い首を縦に動かさずかきながら座り、同じ机の上で一緒におままごとをしています。



“おててとどいたよ”

お兄ちゃん、お姉ちゃんが鉄棒でぶらさがったり、前回りなどしている姿を「何にしているのかな」としばらくじーっと見つめていました。初めは鉄棒に手を伸ばし軽く棒を握るだけでしたが、だんだんと繰り返すうちにしっかりと握れるようになりました。

お兄ちゃん、お姉ちゃんが鉄棒でぶら下がっているのをみて、少し足を浮かせてぶらぶらと出来るようになると嬉しそうに何回も足を浮かしてぶらぶらして遊んでいます。

“担任の思い”

お友達のまえかけが落ちてると拾い、保育者が「ありがとう」と受け取ると、「自分で持っていく」と言うように首を横に振ります。「〇〇ちゃんにどうぞしてくれる」と保育者が言うとそのお友達の近くまで行き、「ん、ん」と言い、お友達に渡してくれます。

お友達を意識始め、手を握ろうとしたり、ぎゅーっと抱きついたりします。

どちらか一方の思いが強く伝わらないときもありますが、居心地の良い距離感を保ちながらゆっくと見守っていきたいです。

谷角早紀・小坂橋円香・植木雅

ねらい：「体をたくさん動かしてあそぼう」「どんぐりや木の枝を使ってあそぼう」

う た：「あわてんぼうのサンタクロース」「赤鼻のトナカイ」

わらべうた：「もみすりおかた」「こっちのたんぼ」「つんなんごう」

急に寒くなってきた 11 月。例年に比べると暖かいです、その日の気温に合わせて調節しながら園庭に出るようにしました。少し寒いかな・・・と感じた日でも子ども達は園庭に出ると、すべり台をしたりフープをしながら園庭の中を回ったりして寒いのが平気、「園庭であそぶの大好き」といった感じのふたば組の子ども達でした。これからどんどん寒くなっていきますが、天気の良い日は園庭に出てたくさん体を動かしあそぼうと思います。

交通公園で秋見つけた！

10月後半からめばえ組と散歩へ行く機会をもち、ふたば組は友達と保育者と手をつないで歩いて行きました。1回目は、「友達と手をつないで歩く？」といった感じで、横にずれてしまったり、手を離してしまったり・・・と色々なことがありましたが、2回目に行くと少し慣れた感じで手を離す子がほとんどいない状況でした。回数を重ねることで手をつなぐことはもちろん、



友達の手をひいて進んでいたり、途中信号をみて「赤だね」と言ったりしながら子ども達も保育者も心にゆとりのある散歩の道中となっていました。

公園では、到着した時に約束事を伝えるのですが、毎回伝えていると子ども達も覚えてきて「あっちはいけない」と言っていました。4回目の時にやっとどんぐりが落ちていたので、保育者と一緒にたくさん拾って帰ってきました。5回目に行った時は保育者が何も言わなくても、どんぐりを拾い始める子どももいて感心しました。「ここにもあるよ」「みて！いっぱい」と嬉しそうに拾い、木の枝もたくさん拾って帰りました。保育園に帰ってから「どんぐりや木の枝で何作ろうか？音がるのがいいかな？引っ付けるのがいいかな？」と話しをしましたが、今後何を作るかは楽しみに・・・。

これ？みのむし？！

最近みのむしを外で見つける事が無いですが、子ども達に秋冬の生きものを知ってほしいなと思い、「みのむしって何？どんなの？」と本で見たり、写真を見たりしました。幼虫を見て「これ何？」「みのむしの幼虫。みのむしになる前だよ」と言うと「ふ～ん」。「これ何？」とみのむしと幼虫がくっついているのを発見し「みのむしになる前かな・・・」と話をしながら一緒に知っていきました。みのむしに見立てて制作を行い、毛糸をのりではって自分なりのみのむしを作ってみました。青や緑や黄色とたくさんの色を用意し、色も自分で選び、少しずつ毛糸をとる子もいれば、たくさん手に取り引っ付けたりする子もいましたが、好きな色を選ぶ事を楽しみ、カラフルな子も多かったです。出来上がりを見て「〇〇のどれ？」と言ったり、お母さんがお迎えの時に「〇〇のどれ？これだね。すごいね」と言った会話も聞かれ嬉しそうに見ていました。これからも色々な素材に触れながら作っていこうと思います。



“担任の思い”

秋の自然物を見つけたり知ったりしながら過ごした季節も冬へと変わってきました。春から飼っていたメダカは夏には赤ちゃんがたくさん生まれ、数匹は大きく育ってきました。もう卵を産むことはなくなりましたが、お父さんお母さんを見ながら「元気に泳いでるね。こっちだよ」と言いながら一緒に見たり「メダカの学校」を歌ったりしています。歌も上手になり1番は完璧です！赤ちゃんメダカも「大きくなったね」と言いながら保育者が餌をあげる姿を見たりしています。冬になり春が来るころメダカはどうなっていくのかな・・・と子ども達と一緒に観察していこうと思います。

ねらい：「異年齢との関わりを楽しむ・2人組や集団での遊びを楽しむ」

うた：「あわてんぼうのサンタクロース」「ごんべさんのあかちゃん」

冷え込む季節になりましたが、かけっこやなわとび・ボール遊びなど子どもたちは元気よく身体を動かして遊んでいます。園庭でくつつき虫を見つけると「ここは付くかな？」と友達同士で付け合ったり、どんぐりや落ち葉を拾ってごっこ遊びに取り入れたり…秋ならではの遊びを楽しんでいます。また、幼児さんが泥団子作りをしている姿を見て、教えてもらったり真似をしながら泥団子を作ることに夢中です。室内では、「どんぐり」などの歌を遊びの中で口づさんだり、お友だちと歌ったりする姿も見られ、元気な歌声を響かせています。



お医者さんごっこ

11月からつぼみ組にお医者さんコーナーを作りました。

男の子も女の子も一緒に会話を楽しみながら、お医者さんと患者さんになりきって遊んでいます。患者さん役をしている子は、赤ちゃんを優しく抱っこしてお医者さんに「赤ちゃんお腹痛いの」と話し、お医者さん役をしている子は聴診器を付けると、「ここが痛いの？」と友達に聞きながら赤ちゃんのお腹に聴診器を当ててお医者さんになりきって遊んでいます。



使い方が分からないものは、「これはどこにするの?」、「どうやってするの?」と保育者に聞くこともあります。お医者さんごっこだけでなく、家族ごっこやお店屋さんごっこでも「お父さん・お母さん、お店屋さん・お客さん」と友達同士でそれぞれの役になりきって遊び、自分が経験したことや覚えたことを遊びの中に取り入れて楽しんでいます。

ストリートギャラリー

ひかりぐみと一緒に、三井住友銀行に展示させて頂いた、かえで保育園の作品を見にお散歩に出かけました。ひかりぐみとお散歩に出かける事を話すとペアの子をどの子も覚えていて、嬉しそうに「〇〇くん・〇〇ちゃん」と保育者に教えてくれました。道中では交通にも関心を持ち、信号ではしっかりと立ち止まり、いちよの葉や知っている建物を見つけると「きれいだね」、「ここ、行ったことある!」とみんなで会話をしながらお散歩を楽しみました。銀行に着くと、真剣な様子で見たり、「つぼみさんが作ったー」と話をしたりする子もいます。帰りもひかりぐみとしっかり手を繋ぎながら、いつもより少し遠い道のりを最後まで歩くことができ、子どもたちの成長を感じました。



“担任の思い”

幼児さんがしていることに興味を持って一緒に遊んだり、年下の子の面倒を見てあげようしたりする子も増えてきています。異年齢の友だちとの関わりの中で、知ることや感じることの経験がもっと出来ればと思います。また、春から夏にかけオクラの栽培をし、その頃から色々な野菜に興味を持ち実際に野菜に触れたり、図鑑や絵本を見たりする中で、「おおきなかぶ」の絵本にも興味が広がっていきました。今では「うんとこしょ、どっこいしょ」とみんなで声を合わせながら色んな役を楽しんでいます。絵本を読むだけでなく、自分たちで表現する事への興味にも広がっていかれたらと思います。

ねらい：「友達とイメージを共有する」「役になりきって楽しむ」

う た：「赤鼻のトナカイ」「あわてんぼうのサンタクロース」

11月に入り、肌寒い日が増えてきましたが、子どもたちは冷たい風が吹いて葉っぱが踊ることや、どんぐりがたくさん拾えることが嬉しいようです。園庭で元気いっぱい遊んだあと、気が付くとポケットにはたくさんのどんぐりが入っていることもあるので、洗濯には十分ご注意ください…。季節の変化を感じられるようになってきたため、今この時期しか楽しめないことを一緒に楽しみ、発見や不思議をたくさん見つけていきたいです。



“かめさんのおうち”

10月末に、用海幼稚園に返したもりぴーに会いに行きました。久しぶりに会うことが出来、とても嬉しかったようで、「元気にしてた?」「逃げてないの?えらい!」などたくさん話しかけていました。そして、かめさんのお家に屋根が付いていることに気が付いたいぶきさん。いったいなんだろうとじっくり観察していました。「雨が降ってきたときに濡れないようにじゃない?」「もう逃げないように用海幼稚園の先生がつくってくれたんじゃない?」など様々な意見もでました。



園に帰ってきて、積み木で作ったカメ池に屋根がないことが気になったようで、みんなで作ることにしました。

何色にするかを相談することから始まり、段ボールを切ると一生懸命塗り始めました。

黄色い部分が完成すると、「やったー!できたよ!」と大喜びでしたが、用海幼稚園の屋根の写真と見比べて、「あいだの(板と板の繋ぎ目の部分)がない…」と気付いたお友達がいました。そこで細く切った段ボールにもみんなで相談してきめた肌色の絵の具をきれいに塗ってボンドで貼りつけました。



やっと完成すると、みんなで力を合わせてカメ池まで運びました。

カメ池が完成すると、すぐに甲羅を背負って池のなかに入ってもりぴーになりきって泳いだり、ほかのカメさんたちにごはんをあげたりして遊んでいました。

積み木が崩れたりすると「水が流れちゃう!」と言って積み直したり、お掃除をしたり、お引越しをしたりと、忙しそうにしています。カメ池に甲羅を背負って入る姿は、まるで温泉につかっているようにも見えてとてもかわいらしいですよ。

“担任の思い”

先月のかえでゆうびんにも書きましたが、友だちと一緒に楽しむことや、イメージを共有する姿がよく見られるようになってきました。このカメ池の屋根づくりでもだれか一人で進めるのではなく、お友達の姿を見て友達同士で相談しながら進める姿が見られました。まだ保育者が仲介に入ることが必要な時もありますが、友達同士で意見を伝え合うこと、相手の気持ちを知ることが大切になっています。ケンカをすることがダメなことではなく、自分の気持ちを素直に伝える、相手の気持ちに気付くことを繰り返しながら、友達と過ごすことが心地よいと感じられるような関係を見守り、ときに関わっていきたいと思います。子どもからの発信や心の奥の気持ちを大切にしていきたいです。

林 奈津美

～ひかりぐみ～

ねらい：「友だちと思いを伝えあうことを楽しもう」

うた：「クリスマスのうた」「きたかぜ小僧のかんたろう」

緑、黄色、赤と色とりどりの葉っぱや「この子帽子かぶってる」「赤ちゃんみつけた」と様々な形のどんぐりを集めて、子ども達も秋を感じているようです。「ちょっと風が冷たいね」と肌寒い日も、逆上がりの練習から大縄跳びで何回跳ぶことができるか数を数えながら挑戦する姿も見られ、自然と身体を動かしながら遊ぶことも増えてきました。夕方、園庭から室内に入る時には「すぐ真っ暗になっちゃうね」「今日のおつきさまはちょっと食べられてみたい」と今の時期に感じることができる冬の空の不思議も観察しています。「綺麗だね」と話す子ども達の姿に感じたことを素直に話せることって素敵だなと私自身も感じました。

“やっとみつけた！”

5月からの園内での虹探し色探しをしてきました。

いろいろな色を見つけたり、雨が降った後窓からだんだん青空が見えてくると、ふと園庭に出て「今日も出てないな…」という虹が出てくるかなと様子を見ていました。11月始め、夕方いつものように園庭に出ると「先生！あれ見て！」「虹が見える！」と築山から虹が見えました。見つけた瞬間大喜び！その場を走ったり跳んだり身体全体で喜びを表現していました。「あ！ひかりさんに教えてあげないと」とみんなを集めてしばらく虹観察をしました。何本あるか数えたり、何色が見えるか見てみたりする中で、段々虹が薄くなっていくと「また来てね」と手を振りながら最後の最後まで見つめていました。



“喜んでくれるかな？”

「だいちゃん今度保育園にお泊りするんだって」「お母さんもお父さんもいなくて寂しくないかな…」「だいじょうぶだよってお守りつくってあげよう」この言葉からひかり組のお守りプロジェクトが始まりました。ひかりさんができることを話しあって三つ編みでお守りを作りました。だいちゃんにはお泊り保育までの“秘密”で進めていきましたが「好きな色何色かな？」「でも聞いたら分かっちゃうかな…」「自分で作りたいだけだからって言ったらいいやん」といろいろな方向から考えて作っていました。三つ編みができる子もいればできない子もいて「どうしょっか…」「じゃあ一緒に教えてあげる」と1人では難しい子に1つずつ丁寧に教えていました。三つ編みを作りながら「だいちゃん1人じゃないよ」「怖くないよ大丈夫」と言葉にしながら編んでいました。



“担任の思い”

ずっと見たかった本物の虹。実際にみるとどこまで伸びていくのか、どうして虹が出てきたのかこのまま消えてどこに行くの？と子どもたちの中で不思議がたくさんあったようです。近くにいることそれぞれが感じたことを話しながら「あ！〇〇ちゃんお休みだった」「一緒に見えなかったね…」「虹出たよって写真で撮ってあげたい」と自分が見た嬉しさとお友達にも見てほしい気持ちがこもっている写真ができました。虹への興味がますます広がり成長発表会にも繋がりつつあります。季節の変化や虹への不思議、発見を子どもたちと表現することができればと思います。

だいちゃんには内緒で進んでいたお守りづくりでしたが、「ペアのお友達に作る？」「だいちゃん郵便屋さんしてるからお手紙描くのはどうかな？」と自分のアイデアをお友だちに話したい気持ちが自然と表れていました。自分の考えとお友だちの考えの違いから今までは考えなかったことをお互いに知ったり、プレゼントを贈る人の気持ちを考えることができたきっかけにもなりました。「僕たちがだいちゃんになったらお泊り保育する？」「どんなことしょっかな～」とだい組への期待を話す子もいました。来年もどんな子ども達の気づき、発見を見ることができると楽しみです。

日笠 加菜

～だいちぐみ～

ねらい：「友だちと一緒に表現することを楽しむ」

「一年を振り返り、季節の移り変わりを感じる共に、楽しかった思い出や成長に気付く」

う た：『ちきゅうのシンフォニー』

11月は日中と朝晩との寒暖差が大きく、体調が優れない子も見られました。生活の中ですぐにでも行えることをみんなで確認すると、手洗いうがいの他にも「お野菜で栄養をとる」「たくさん運動をする」等、教えてくれました。体の仕組みと生活習慣の繋がりに気づき、自らも生活に取り入れられればと考えています。

12月は1年の締めくくりということで、月日の流れや暦について触れながら、みんなで新しい年を楽しみに迎えたいと思います。

“大根のテントをつくろう”

だいち組で畝を作り、大根の種を植えました。そして芽が出る日を心待ちにしていたある日のこと、朝から雨が降っており、3人のだいちさんと園庭に向かうと、大根の種を植えた土の部分が崩れていました。傘を差しながら綺麗に整えた後に、雨足が強くなり「種が流れてしまったらどうしよう」心配するだいちさん。そこでみんなで集まり、ビニール袋でテントをつくることにしました。

フリールームは雨が降っている様子も窓から見えており、目的が子どもたちにとって分かりやすかったのか、全員が自然と力を合わせて完成に向かっていました。

まずは床に袋を広げて繋ぎ合わせていく作業です。袋の端と端に立ちテープを伸ばそうとしていました。AちゃんがBくんに向けて手を伸ばしますが「あー届かないよ」体が揺れて倒れそうになります。すると、その姿を見ていた友だちが、AちゃんとBくんの体が倒れないようにと足やお腹を支え始めました。

腕を目一杯伸ばせるようになったAちゃんとBくんですが、それでもなかなか届きません。

今度はCくんが立ちあがったかと思うと、静かに袋の角の部分に立ち2人の間を繋げる役割を担います。

この時、みんなの気持ちはいつの間にか一つになっていました。

“頑張れ！届いて！”と今にも声が聞こえてきそうです。

そしてCくんのお陰もあり、無事にテープを届かせることが出来ました。

「やったー!!!」跳び上がり喜ぶ子、ほっと安心した様子でいる子、テープを貼り進める次の作業に気持ちが移っている子と様子は様々でしたが、子どもたちだけで出来たから

こそ、これだけの喜びや達成感が生まれたのではと感じました。

その中で一人の子が担任の元へやって来て、「よかった、14人に戻れて。4人だったらすごく大変だったかもね」と呟きました。

実はこの2日前に、友だちのことを考えられなかった出来事があり、だいちさんの気持ちがばらばらになってしまいました。翌日にみんなで気持ちを話し合い、「やっぱり14人がいい」「みんなずっと仲間だから」と涙を流しながらだいちさん14人の大切さを感じた出来事でした。

みんなで力を合わせることで、改めて“14人で良かった”という想いに気付いたのかもしれないね。



“トムに会いたい”

郵便ポストに、だいちさん宛の手紙が届きました。差出人が書いておらず誰から届いたものかわかりません。

「早く開けてよ!」とときどきした様子のさいちさん、手紙を読み猫の手形を見るとすぐに「もしかして、トム?!」と思いついていました。(トムは、だいちさんが素話で読んでいる『ねこのタクシー』に登場する猫です。)

それぞれが想像したことを言葉にして伝えます。

「昔ってことは、ずっとずっと前に書いていたけど、誰かがその手紙を見つけてポストに入れたんじゃない」

「でも昔ってことは、もうトムはお爺さんでひげが生えているはずやで」

「お爺さんだから、ゆっくりゆっくり歩いてきたのかな」とも話していました。

テラスに出て猫の姿を探したり、大根の畝が崩れていると「トムがここを通ったのかもしれない」と、だいちさんにとってトムは身近な存在となっていました。

それからだいちさん宛に何通も手紙が届くようになり、その度に想像したことを話し合いました。

そしてみんなが楽しみにしていたお泊り保育でのこと、だいちさんの希望で東三公園に出かけたのですが、道中で猫を見つけました。ずっとトムの姿を追っていただいちさんは、興奮した気持ちを抑えぐっと息を潜めます。するとすぐ傍にもう一匹猫がいました。じっとこちらを見ている。残念ながらトムの毛色とは違いましたが、全員で3匹の猫に出会いました。「もしかしたら、トムの仲間かもしれないね」「ぼくたちがお泊り保育ってこと、知ってたのかも」「今からトムに会うのかなあ…」

園に帰ってからも図鑑でトムに似ている猫を探したり、

トムの住んでいるであろうイギリスにも愛着がわいているようでした。

“トムに会いたい”というだいちさんの強い気持ちが、きっと猫に会わせてくれたのだらうと、だいちさんのパワーに驚きました。



“担任の思い”

11月はお泊り保育に向けて14人で物事をすすめる機会も多くありましたが、個々の気持ちがぶつかり些細なことで言い合いになったり、自分の主張に夢中になり周囲の人の気持ちに気付けなかったりといった姿も見られました。クラス14人で過ごしているとどうしても役割が自然と決まってしまうところがあります。一緒に活動する友だちや人数が変わることで、集団の中の自分に気づき、普段と異なる立場を経験することも出来るのではと考え、グループに分かれて過ごす時間も設けているところです。

だいちさんの中で膨らむトムへの気持ちと、物語の世界に入り込み夢中になって楽しむ心は、これからも大切にしたいと思います。いつかトムに会えるかな…。

トムとの物語は、あそびの中や成長発表会にも繋がっていく模様です。ぜひ、お楽しみに♪

河本 彩奈

めばえ・ふたばからのお知らせ

- 園用の上着のご用意をお願いします。
適しているもの：フードのない薄手の
ジャンパー、トレーナー
適していないもの：ダウン、フリース地の
分厚いジャンパー

つぼみ・いぶき・ひかり・だいちからの お知らせ

- 12月でつぼみ組の連絡ノートは終了となります。新しくA6サイズのノートを各ご家庭でご用意ください。
- 保育園用の外靴のサイズの確認をお願いします。
- 洋服への記名をお願いします。

保護者の方からのおはなしコーナー

親子マラソンに初挑戦しました。

「マラソンってなに？」という娘とあまり練習もしないまま本番を迎えましたが、3キロの距離を休憩もそこそこに走り抜けました。顔を真っ赤にして必死に走る娘の姿を見てこんなに頑張れるのか、体力もついているんだな、とすごく成長を感じました。

だいち組 りこさん

「体操嫌〜！」と毎週（木）になると朝からぐずぐずしていた娘が気が付くと「体操好きになった！」というようになり、最近は「体操は何曜日？今日体操？」と待ち遠しくて仕方ない様子を見せるようになりました。

まだまだ新しいことが苦手な娘ですが、彼女のペースでゆっくり成長して行って欲しいと思います。沢山のことにチャレンジさせて下さる保育園にただただ感謝です。

つぼみ組 じゅりさん

3人目ということもあって私も主人も長男や次男の時のように走り回って遊ぶ事がだんだん減ってきていて、最近では小5・小3のお兄ちゃん達に家の横の公園で遊んでもらうことが多いのですが、この間家族で保久良山に登った時、バテる私の前をスタスタと険しい道を歩き、岩を上り下りする姿を見て、いつの間になんか体力があったのかと、とても感動しました。

「保育園で甲山に登った時もずっと歩いたんやで」と得意気に話していました。

私も4歳の息子に負けてられないなあ、と背中を押された一日でした。

ひかり組 めぐみさん

先日、運動発表会がありましたが、今まではお返事や体操はモジモジだった照れ屋の息子。

今回は家で自ら練習もたくさんしていたし、モジモジせず出来るだろうかと心配する親をよそに、元気いっぱいお返事して踊って楽しんでいる様子を見て、成長したなあとしみじみ。これからも全力で楽しんでいる息子でいて欲しいです。

いぶき組 ゆかさん

娘の中で髪の毛を結ぶのが流行っていて、お団子はパンダちゃん、おさげの三つ編みはうさぎちゃん。先生に結んでもらうのも大好きで、お友達が結んでいるのを見たら自分も、と先生におねだりしている様子。

家では上手く希望を表現できず、癩癩を起すことも多いですが、鏡の前で満足気に笑っている姿からはちょっぴり女子力も感じられ!? 苦笑いしつつも成長を感じています。

ふたば組 ちほさん

私と娘は忘れん坊なところがよく似ています。

ある朝「今日は何を着ていく？」などとのんびり話して娘と服を決め、さあ、保育園に着いたら何と体操日！

「もう、ママ忘れん坊！」

そういう君も忘れん坊だよ…

ひかり組 えみさん

☆お台所から☆

街がだんだんとクリスマスのイルミネーションに彩られる季節になると、本当にあっという間の1年だったと感ずます。寒くなるにつれて、本格的に旬の野菜、果物などが美味しくなる季節です。12月の献立も旬の美味しい食材を多く取り入れた体の温まる食事を作りたいと思います。

<11月の食育活動の様子>

・だいち組のお泊り保育では夕食作りで、夕食で使う野菜の皮をむき、包丁で切りました。メニューはオムライス・グラタン・ポトフ・スティックサラダと品数もあり、切る量も多かったのですが、皆で頑張って仕上げてくれました。食事中に人参やキャベツが出てくると「これって僕が切ったやつかなあ?」「この玉ねぎは〇〇ちゃんが切ったんちゃう?」など嬉しそうに話していました。又、給食室からのサプライズメニューとしてお泊り保育の取り組みの中で絵本“ねこのタクシー”の中に出てきたフィッシュ&チップスを作りました。子どもたちも「こんな料理やったんや」「フライドポテトが入ってるなんて知らなかった」といろいろなことを話して食べてくれていました。

・つぼみ組がみそ汁に使う白菜をちぎってくれました。丸々と大きな白菜を持ってみたり、子どもたちの目の前で半分に切って中の様子を見てもらうと「重たいね」「中は黄色いね」など話していました。ちぎっていると、「みてみて、できたよ」と見せてくれる子もいて、大きな白菜でしたが皆であっという間に仕上げてくださいました。食事中みそ汁の中に白菜を見つけると「白菜あった」と言って嬉しそうに食べていました。

・ひかり組がおやつのみたらし団子を作りました。先月お団子を作った時に「今度もう一回やりたい」という子供たちだったので、今回は自分たちでお団子を茹でる経験もしました。作っていく最中で「お団子作るには水があるんやんね」「お団子丸めたあとは指でちょっと潰すんやんね」など前回作った内容をしっかり覚えてくれていました。そしてお湯が沸いた鍋の中に一人ずつにお団子を入れていくと「早く食べたいな」「美味しいお団子になってね」と言いながらそっとお湯の中に入れていました。浮いてきた団子を見つけると「わぁ浮いてきた、もう食べれるよね」「皆で見よう」と鍋の中を覗き込んでいました。茹でたのみにみたらしのたれをかけて皆でお団子を食べていると「次はどんなお団子作る?」という話もあったので、次回は子どもたちと相談して野菜を練りこんだお団子作りなどにも挑戦してみたいと思います。

・いぶき組は八百屋さんに柿とりんごとみかんを買いに行きました。最初は「ジャムにしたい」という子どもたちからの話だったのですが、「ヨーグルトに入れて食べたい」という話になり、柿をピーラーで皮を剥いてみかんと一緒にヨーグルトと混ぜて食べました。自分たちで作った味は格別だったようで、「めっちゃ美味しかった」と話していました。又、りんごはおやつにも食べました。

<12月の献立で使用する旬の食材>

だいこん	はくさい	ほうれんそう	かぶ
ブロッコリー	りんご	みかん	ゆず

<12月に予定している食育活動>

- ・お団子作り、野菜の皮むき、粕汁の酒粕の匂いをかぐ、冬至のお話などを予定しています。
- 又、つぼみ組は12月からお皿を少しずつ移行していきます。



かきの皮を剥きました (いぶき組)



白菜をちぎりました (つぼみ組)



お団子作り (ひかり組)



- 感染性疾患が出る季節となりました。朝の検温・体調管理をし、不調の場合は必ずお知らせください。
- 薄着で過ごすことを奨励しています。保温はしっかりしてください。肌着（おなかが隠れるサイズ）を着用してください。
- 2歳児までは気温にあわせて床暖房が入ります。
- 幼児クラスの上着は動きやすいものをご用意ください。

こんなことしたよ♪

11月16、17日はだいちさんのお泊まり保育がありました。お友達と一緒に秘密のお風呂に入ったり、絵本室でプラネタリウム眺めたり、自分たちで作ったご飯を味わったり…素敵な笑顔を沢山見ることが出来ました。ご飯の時に行われた出し物では、歓声も聞こえてきました。だいちさんにとって素敵な1泊2日となりました。家庭保育のご協力もありがとうございました。



三井住友銀行のギャラリーにかえで保育園の作品が展示されていました。つぼみ、幼児はお散歩で見に行きました。遠い道のりを一生懸命歩いてみんなの作品を見に行けました。



☆お願い☆

- 冬期保育は12月26日から1月5日までです。お仕事がお休みの方、育児休暇中の方は、ご家庭でゆっくりお過ごし下さい。

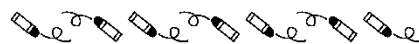
12月29日～1月3日まで休園です。

休み中の緊急連絡は

080-3862-3352（園長携帯）まで

1月4日はお弁当日となります。ご用意ください。

後日、手紙を配布します。



《12月の予定》

- 1日（土） かえでカフェによるフリーマーケットパート②
- 3日（月） 用海地区交流「みんなであそぼう会」（だいち）
- 4日（火） 絵画
- 7日（金） お弁当日（全園児）成長発表会予行練習①
- 11日（火） 成長発表会予行練習②
- 12日（水） 成長発表会予行練習③
- 15日（土） 成長発表会
- 18日（火） ふれあい動物園
*野菜や果物の持ちよりをお願いします。
- 19日（水） 西宮市による指導監査
- 21日（金） 絵画
- 25日（火） おたのしみ会
- 29日（土）～1月3日（木） 冬期休暇

体操の日：6・13・20日（木）
25日（火）午後～だいちのみ

《1月の予定》

- 9日（水） おもちつき大会
- 12日（土） こども園移行説明会（10時～）
園内研修（小西貴士先生）
ダンディタイム（16時～）
- 16日（木） 雪遊び（ひかり・だいち）
- 19日（土） 西宮民間保育園の全体研修会
保育は13時までとなります。ご協力をお願いします。